



ヨコハマ市民まち普請事業

第2次整備提案書

※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

1 整備提案の概要について

整備提案名	地域ぐるみで地域開放型コミュニティ・サロンをつくる
提案グループ名	地域開放型サロンを豊岡につくる会
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	鶴見 区 豊岡町14-27 ※ 従来は表通りから脇に入った部屋の部分を使用する予定でしたが、その部分を障がい者就労支援施設の場とすることになったため、表通りに面した、条件のよい部屋を活用出来ることになった。 ※ なお、建物自体がL字型になっており、住所そのものに変更はありません。
整備したい施設の概要	鶴見駅西口、豊岡通り商店街のビル1階を地域開放型コミュニティ・サロンとして整備します。 【整備概要】 ◎喫茶スペース および 喫茶を提供するための簡易な厨房、厨房機器 ●建物周辺の飾花同ビル内に開設する障がい者就労支援事業所「パン工房」で焼き上がったパンの“イート・イン”スペースとしてソフトドリンクを販売。 ◎休憩・交流スペース ●豊岡地区で地域住民の孤立を防ぐため、誰もが気軽に立ち寄れるアットホームなフリースペースを提供。 ●ストリートミュージシャンなど音楽家の卵が自己表現する場として場所提供を行いながら、ソフトドリンク・アルコール(夜間)販売による収益拡大するためのイベントスペース提供。 ◎ミニショップスペース(棚ショップなど) ●多少なりとも収益に貢献できるよう、壁面を中心に地域住民が持ち寄る作品などの展示・販売。 ◎情報コーナー(インターネット、掲示板等) ※「豊岡」という地域社会全体で障がい者の雇用環境改善に貢献する仕組みをつくることで、住民の間に「やさしい気持ち」「つながる安心」という気持ちが芽生える場所づくり・運営を行う。
整備助成金申請予定額	500万円
設計及び整備のスケジュール	平成21年 11月～12月:具体的な企画や、必要整備、配置などの検討 平成22年 1月中旬 :閉館する施設より譲り受けた備品を活用して、模擬サロンを実施 3月まで :模擬サロンで検証した内容を生かした、設計の調整 4月 :工事および整備着手・概略完成 5月 :オープニングイベントの実施

2 創意工夫について

<p>計画について、特に工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)</p>	<p>◎障がい者の参加 計画検討の途中で、隣接して知的障がい者の就労支援事業所として「パン工房」ができることになり、パン工房と連携した運営、障がい者の就労も前提とした計画を盛り込むこととした。</p> <p>◎多様なニーズに対応できるような工夫 「住民のたまり場」、「イベント会場や貸しスペース」、「住民交流と情報発信」、「障がい者参加」など、計画を検討する過程で多様なニーズが出てきたので、これらの機能を盛り込んだ空間、設備を導入。</p> <p>◎自治会、商店街との連携 地域ぐるみで支えてもらえるよう、実行委員会に豊岡地区の各自治会長や地区社協関係者、商店会関係者にも参加していただき、トイレの整備や住民のたまり場機能など地域から出てきたニーズを取り入れた計画とするとともに、運営に関しても参加・協力する方策を検討した。</p>
<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。 ※ 詳細については、「想定整備費用内訳書(第3号様式)」に記入してください。</p>	<p>◎ オーナーの協力 ビルのオーナーが趣旨に賛同し、水回りの基本工事、トイレ、厨房の一部の工事費用を負担してくれることとなった。</p> <p>◎ 大工さんボランティアとの連携 既製品では対応しにくい大テーブルや腰掛け、内装の一部は、区内の大工さんボランティアや地域住民が行うことを想定している。</p> <p>◎ 中古品の活用 可能な範囲で、什器類は閉館になった施設等から調達することを想定。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営注5)計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。 注5)施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<p>◎ 経営計画 サロンは施設整備より自立的な経営が成り立つかが重要である。経営コンサルタント経験者の意見をふまえて経営計画を検討し、喫茶、スペース貸しなどの収入で2/3をまかない、1/3は会費、寄付、協賛金等でまかなうことを予定している。なお、運営スタッフを、基本的にボランティア参加とすることで人件費負担を軽減、精神的な充足感を得られるような運営方法を検討中。</p> <p>◎ マンパワー 日常の運営(サロンの店番)に関しては、地域住民のほか、ボランティア連絡会のメンバーの協力も得ながら体制を組む。また喫茶の接客業務の一部は、隣接の障がい者就労支援施設と連携して、知的障がい者にも関わってもらえる予定。</p> <p>◎ イベント イベント企画・運営については、すでに多様な団体・グループから提案がある。例えば、店前通行者数が多いことから「にぎわい感」を演出し「ちょっと立ち寄ってみようかな」という人を増やすためのミニコンサート・〇〇教室などカルチャーセンター的なイベントを開催し商店街の人たちも気軽に立ち寄れる場づくりを目指すなど、様々なアイデアも同時に検討中。</p> <p>◎ 応援組織・会員制の検討 商店街・自治会など関与団体から賛助会員を募集し、事業運営・経済的支援での協力を呼び掛ける予定。</p> <p>※ 「収入」に見合った「支出」が為されるよう、企画運営に関わる人が収支情報を共有し経営感覚を磨けるような運営を心掛けます。</p>

3 実現性について

<p>地域(地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等)での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<p>◎ 実行委員会には豊岡地区の各自治会長、地区社協関係者、商店会長なども参加しており、地域ぐるみの推進体制ができています。</p> <p>◎ 自治会の協力でニュースレターを回覧したり、掲示板に掲示するなど、サロンの取組を地域に知ってもらおう活動を行い、地域の期待は高まっている。ビルのオーナーからは、水回りなどの工事をすでに実施していただき、全面的な協力をもらっている。</p>
--	---

4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 鶴見駅西口側には公共の施設がほとんどなく、住民がふらっと立ち寄れる場所が全くない。また「ふれあいセンター」として活用されていた建物が取り壊され、新たな施設となるため、従来から豊岡地区に住民の集える場が求められていた。 ◎ このような背景のなかで、オーナーが地域貢献に活用したいという意向を持っていたことがきっかけで、サロンづくりの話が具体化したものである。 ◎ 豊岡商店街は長い距離があるが休憩する場所がなく、トイレもない。サロンは商店街の活性化にも貢献すると考えている。 ◎ 障がい者の就労支援施設が隣接して開設するため、パンの売上拡大を通じて就労者の賃金(売上利益の還元)向上、提供サービス業務を行い社会参加の機会を提供することで地域ぐるみでの障がい者支援活動を行う場に行ける。 ◎ 高齢化する近隣住民の「孤立」を防ぎ、仲間づくりの拠点化を図ることによって、精神的な拠り所を確保することができる。
--	--

5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(材料の調達方法や施工業者への発注方法など)</p> <p>※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 既述のとおり、オーナーの配慮で、水回りと基礎工事は実施していただき、初期投資費用が大幅に軽減できた。 ◎ 調度品についても閉館する施設で使用していたものを流用したり、リサイクルのインテリア・厨房機器などを活用することによって、初期投資費用を抑え費用軽減を図っていく。 ◎ 施工業者の選定にあたっては地域社会の中で社会福祉に対して理解があり趣旨に賛同してくれる業者へ発注を行うとともに、簡単な造作物に関しては日曜大工などが得意な人材とともに作成していく予定。
--	--

6 地域まちづくりへの発展性について

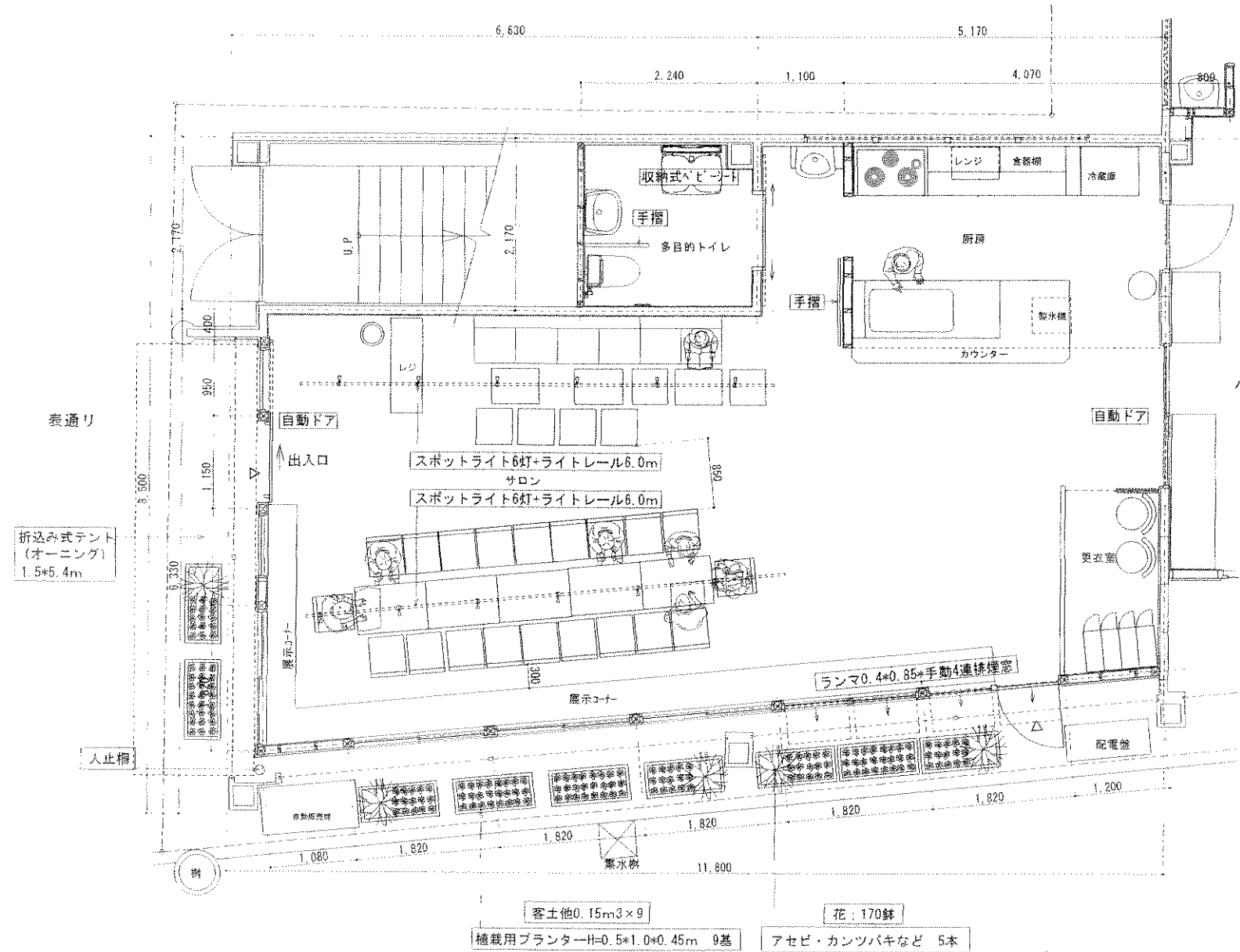
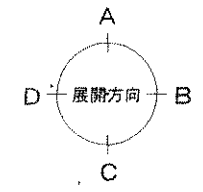
<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 横浜市第二期地域福祉保健計画の中の「地域福祉保健推進の環境整備」にもあるように、まちの活性化には「拠点」が必要である。 ◎ 現在、サロン立ち上げに関して、主な住民の十分な理解と支援も得ている中、様々な企画を自治会町内会や商店街連合会と連携していくなど、このサロンを豊岡地域の活動拠点と位置付け、住民活動の活性化につなげていきたい。 ◎ なお、今後の運営に関しては、現在立ち上げている作業部会(ワーキンググループ)のメンバーのほか、近隣、学校(鶴見大学等)に呼びかけ、協議会を結成し、まちぐるみでサロン運営を行っていく。
---	---

7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 近隣住民から長く望まれてきた「拠点」が整備され、にぎわいづくりのためのイベント企画を定期的実施することで「まちづくり」が「人づくり」にも大きく発展できるものになります。 ◎ 豊岡小学校や、地域子育て支援拠点「わっくんひろば」もあることから、まちの安心・安全の一翼を担うため、「こども110番の店」として協力します。 ◎ 西口で成功を収めている「キャンドルナイト」や「オープンカフェ」の関係者とも連携し、さまざまな地域活動の成果をサロンにも活かしていきます。 ◎ 障がい者の就労支援施設が隣にできることで、当初の計画よりも幅広い活動が展開できることになり、サロンの活性化が障がい者の就労支援に密接に関係してくることが予測されます。 ◎ まちづくりを推進しながら同時並行的に障がい者支援の一端も担えることになり、これまでであったサロンとは一味違う「人とのつながり」を実感できる施設にできると考えております。 ◎ 計画を検討する過程でどんどん人の輪が広がってきており、サロンが成長している点については、鶴見ならではの形ではないかと思っています。
-------------------------------------	--

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。



- テーブル600×900 5卓
- テーブル450×600 3卓
- 椅子 造り付(6人掛) 1卓
- 椅子(スツール・背なし) 6卓
- 椅子(背付) 20卓
- 収容人員 32名

多少窮屈ですが20名の集会ができ、厨房前は大きな準備や下こしからの空間が取れそうです。屏風のような可動式間仕切を準備したほうが多様に使えると思います。

鶴見豊岡町ビル改装計画図

横浜市鶴見区豊岡町14-27

サロン配置平面図 S=1:50

配置案(集会配置)

ヨコハマ市民まち普請事業 想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

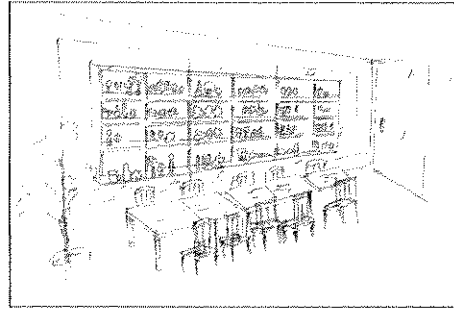
●「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。

●「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。

●「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

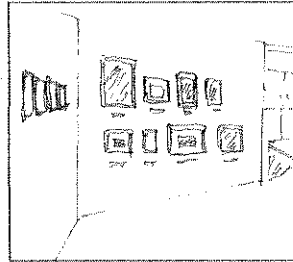
主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
テーブル1	450*650/1卓	3	¥12,000	¥36,000	住民の協力による (2人/0.5日取付)
テーブル2	600*900/1卓	5	¥20,000	¥100,000	住民の協力による (2人/1.0日取付)
造り付椅子	W=0.6/m	3.1	¥180,000	¥558,000	
椅子(背なし)	450*450*380 /1席	6	¥25,000	¥150,000	
椅子(背付)	450*500*420 /1席	24	¥30,000	¥720,000	
展示棚	900*350/m	11.8	¥20,000	¥236,000	住民の協力による
間仕切	H=2.0m/m	2.4	¥150,000	¥360,000	住民の協力による (2人/0.5日取付)
カーテン	H=2.0m/m	1.2	¥8,000	¥9,600	住民の協力による (2人/0.5日取付)
カーテンレール	L/m	1.2	¥6,000	¥7,200	住民の協力による (2人/0.5日取付)
排煙窓	450*850	4	¥40,000	¥160,000	
排煙窓操作金物	手動式	1	¥100,000	¥100,000	
花壇プランター	1.0*0.45*0.5	9	¥35,000	¥315,000	
樹木	アセビなど植え手間共	5	¥12,000	¥60,000	住民の協力による
花	植え手間共	170	¥600	¥102,000	
客土他	0.15m ³ /1基	1.33	¥35,000	¥46,550	
折込式テント	1.5*5.4・取付共	1	¥600,000	¥600,000	
ベビーシート	収納式	1	¥250,000	¥250,000	
トイレ用手摺	取付共	1	¥50,000	¥50,000	
室内用手摺	取付共	1	¥30,000	¥30,000	
スポットライト	灯	12	¥30,000	¥360,000	
同上レール	m	12	¥15,000	¥180,000	
出入口自動ドア	組	1	¥950,000	¥950,000	
室内自動ドア	組	1	¥800,000	¥800,000	
人止柵	組	1	¥50,000	¥50,000	
冷蔵庫	家庭用大型のもの	1	¥150,000	¥150,000	
コーヒーマーカー	業務用	1	¥72,450	¥72,450	連結タイプ
アイスコーヒークーラー	業務用	1	¥115,500	¥115,500	
食洗機	業務用	1	¥400,000	¥400,000	
工作道具類		1	¥31,700	¥31,700	
合 計				¥7,000,000	

サロンの空間利用プランとイメージ



たまり場コーナー
 (一人でも喫茶できるよ
 う、小テーブルを配置)

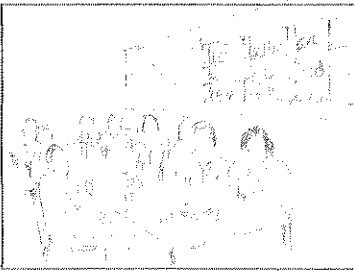
ギャラリースペース
 (壁面をギャラリーとして
 貸し出し)



小箱ショップ
 (外からも見えるように
 窓に沿って設置)

花壇の設置
 (和やかな雰囲気を出しつ
 つ、車いすユーザーなどの通
 行の妨げにならないように、
 敷地内に花壇を設置)

わいわいコーナー
 (大人数の会合ができるよ
 う、大テーブルを配置。仕切
 りを入れて貸しスペースとす
 ることも可能)

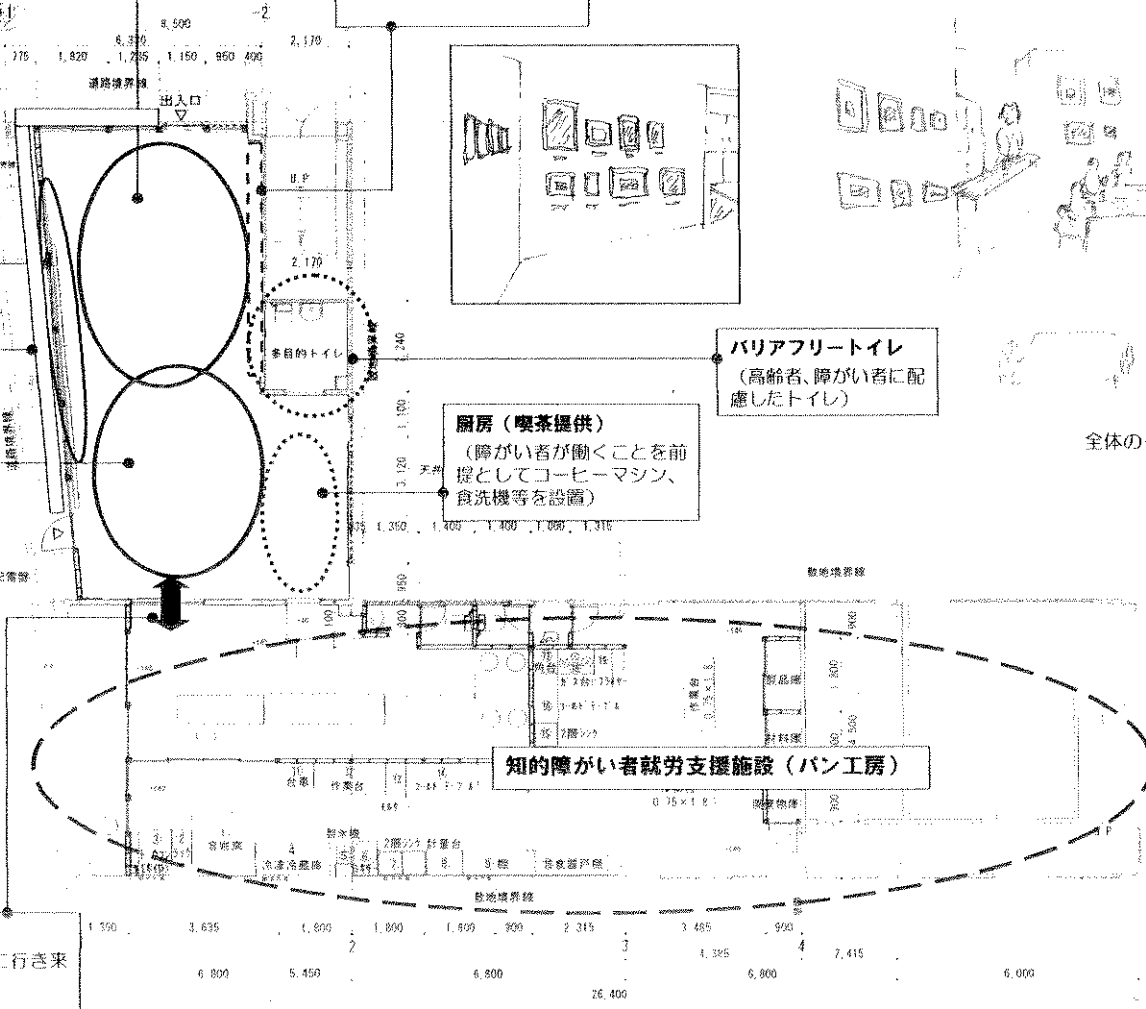


厨房(喫茶提供)
 (障がい者が働くことを前
 提としてコーヒーマシン、
 食洗機等を設置)

バリアフリースペース
 (高齢者、障がい者に配
 慮したトイレ)



全体のイメージ



パン工房との連絡
 (連携を考慮して相互に行き来
 できるようにしておく)

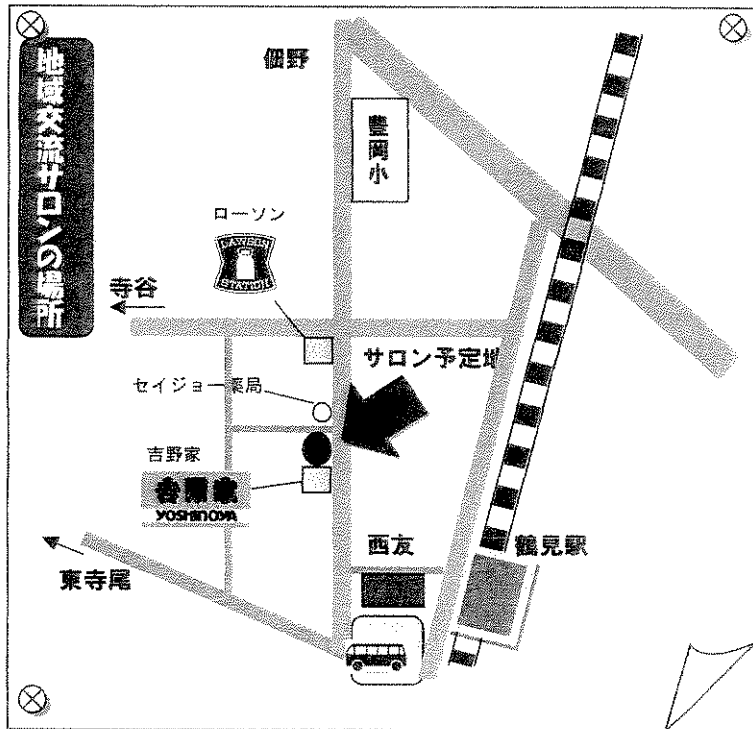
ヨコハマ市民まち普請事業採択をめざして活動中

地域開放型サロンを豊岡につくる会ニュース

豊岡に地域交流サロンをつくらう！

豊岡商店街、吉野家の隣のビル1階に住民の交流拠点（地域交流サロン）をつくらうという活動が区民有志によって始まりました。豊岡地区の各自治会、商店会、地区社協、ボランティア団体などの賛同を得て活動の輪が広がっています。

発行：地域開放型サロンを豊岡につくる会
連絡先：鶴見区文化協会気付 045-521-5520



ちよつと一息つける場所・いつも誰かと出会える場所

あつたらいいなと思いませんか？地域のサ

豊岡通りの駅近く、吉野家の隣のビルが空いています。オーナーのご厚意で、このビルの一階のスペースを地域のサロンとして貸していただけることになりました。豊岡地区には地区センターのような住民が集える公共的な施設がありません。ではみんなで作ってしまえ！横浜市には市民の力でまちづくりをする場合に、五百万円まで補助してくれる制度（ヨコハマ市民まち普請事業）があります。住民が力を合わせて参加すること、地域の課題解決につながることで条件があり、さらにコンクール形式で他の地域の提案と競わなければなりません。さいわい、一次コンテストは無事にパスし、二月に行われる2次コンテストに向けて、みんなのアイデアをまとめた提案書の作成に取り組んでいます。



サロンを計画しているビル

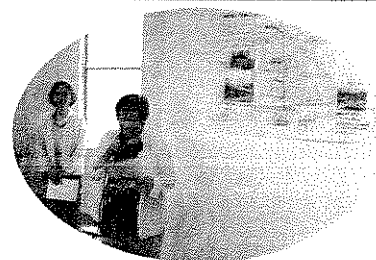
平成21年6月28日
一次コンテスト通過

みんなでアイデアを出し
合って提案書を作成

平成22年6月28日
二次コンテスト

ヨコハマ市民まち普請事業とは？

市民が地域の特性を生かした身近な生活環境の整備を自ら主体となって発意し実施することを目的として、整備に関する提案を募集し、採択された提案に横浜市が支援する制度です。2次コンテストを通過すると、500万円を限度に整備助成金が交付されます。

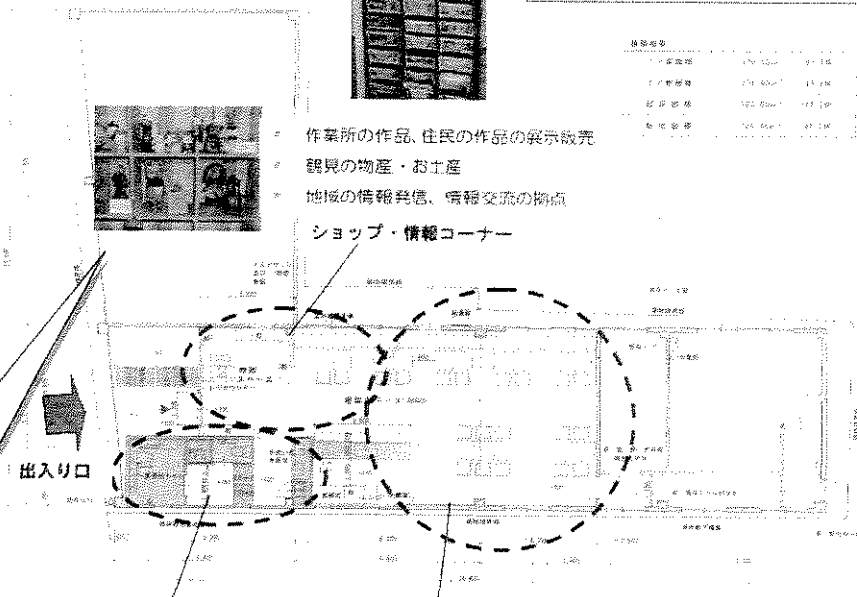


一次コンテストでのプレゼンテーション

整備イメージ

豊岡通

対象面積（1F）	181.76㎡（54.9坪）
サロン予定面積	107.32㎡
その他	57.46㎡



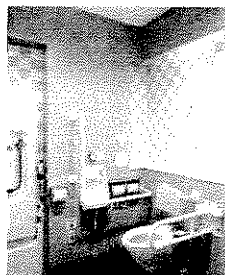
- 作業所の作品、住民の作品の展示販売
 - 親見の物産・お土産
 - 地域の情報発信、情報交流の拠点
- ショップ・情報コーナー

用途別	181.76㎡	54.9坪
1F	107.32㎡	32.4坪
2F	74.44㎡	22.5坪
3F	0.00㎡	0.0坪
4F	0.00㎡	0.0坪
5F	0.00㎡	0.0坪
6F	0.00㎡	0.0坪
7F	0.00㎡	0.0坪
8F	0.00㎡	0.0坪
9F	0.00㎡	0.0坪
10F	0.00㎡	0.0坪
11F	0.00㎡	0.0坪
12F	0.00㎡	0.0坪
13F	0.00㎡	0.0坪
14F	0.00㎡	0.0坪
15F	0.00㎡	0.0坪
16F	0.00㎡	0.0坪
17F	0.00㎡	0.0坪
18F	0.00㎡	0.0坪
19F	0.00㎡	0.0坪
20F	0.00㎡	0.0坪
21F	0.00㎡	0.0坪
22F	0.00㎡	0.0坪
23F	0.00㎡	0.0坪
24F	0.00㎡	0.0坪
25F	0.00㎡	0.0坪
26F	0.00㎡	0.0坪
27F	0.00㎡	0.0坪
28F	0.00㎡	0.0坪
29F	0.00㎡	0.0坪
30F	0.00㎡	0.0坪
31F	0.00㎡	0.0坪
32F	0.00㎡	0.0坪
33F	0.00㎡	0.0坪
34F	0.00㎡	0.0坪
35F	0.00㎡	0.0坪
36F	0.00㎡	0.0坪
37F	0.00㎡	0.0坪
38F	0.00㎡	0.0坪
39F	0.00㎡	0.0坪
40F	0.00㎡	0.0坪
41F	0.00㎡	0.0坪
42F	0.00㎡	0.0坪
43F	0.00㎡	0.0坪
44F	0.00㎡	0.0坪
45F	0.00㎡	0.0坪
46F	0.00㎡	0.0坪
47F	0.00㎡	0.0坪
48F	0.00㎡	0.0坪
49F	0.00㎡	0.0坪
50F	0.00㎡	0.0坪

当初の提案の後、豊岡通りに面したこちらの場所を借りられることになりました。

二次提案では、こちらの空間をもとに、使い方を検討しています。

多目的トイレ
(ユニバーサルデザイン・トイレ)



車いす利用者、高齢者、乳幼児など誰でも使える
快活トイレの整備（西口には高架下に公衆トイレ
があるだけなので、利用者は多いと考えられる）

交流スペース
(コミュニティ・カフェ)



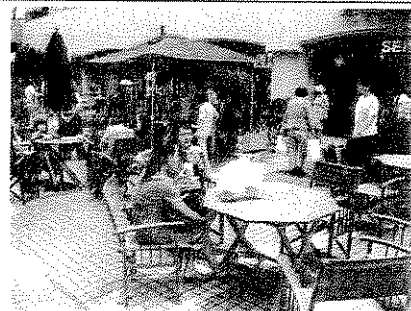
- 車いす、ベビーカーの利用者も使いやすいスペースに！
- おいしいお茶が飲めます！
- あたたかい雰囲気のデザインに！

豊岡のサロン計画に期待する—審査員からこんなコメントをいただきました

轟木ひろ子審査委員から

核家族の中での高齢化、少子化のもとの育児負担、障害者や経済的生活困窮者を対象とした福祉切り捨てなど、さまざまな問題が急激にふくらみつつある現代において、求められているものの一つがさまざまな人のための「居場所」であろうと思います。コミュニティ・サロンは多くの人が集える「心地よい居場所」であり、「孤独」を防止し、交流を促進し、生きがいを見つけられる場所として期待されています。

提案の豊岡の地域開放型サロンは、これまで地域活動のノウハウを培い、地域の良さや問題をよく知っている方々が中心となって計画されており、近年衰退の兆しがあるとはいえ駅近くの商店街の真ん中という便利な場所に予定されています。豊岡のコミュニティ・サロンに人が集うことによって商店街も賑やかになり、この通りを歩くことを楽しみとする人が増える。そんな将来を期待しています。（ヨコハマ市民まち普請事業「まちぶしんぶん」第11号）



区民の提案によって商店会などとの協働で始まった西口広場のオープンカフェはすっかり定着しています。こんな実績も評価されました。

バリアフリーで快適なトイレがほしい！

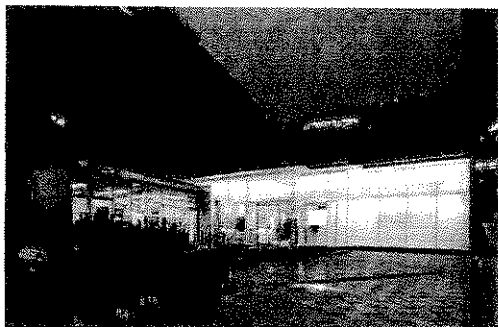
トイレについての学習会を開催しました

高齢者も障害者も、子供も赤ちゃん連れのお母さんも、誰でも集えるサロンにするためには「トイレが大事だ！」という意見が出され、トイレについての学習会を開きました。講師は東京駅や大丸東京店をはじめ全国のデパートやショッピング街、学校などで、トイレのデザインと設計を専門に行っている「設計事務所ゴンドラ」の浅井佐知子さん（一級建築士）。かつては公共トイレや駅のトイレは、「汚い・暗い・くさい」の3Kといわれましたが、今では世界でもっともトイレがきれいな国は日本だとか。



講師の浅井佐知子さん

阪神大震災ではトイレが大変な問題だったというお話からはじまり、トイレこそ生活に不可欠なものだということを確認させられました。トイレに対する人々の意識も大きく変わってきています。家庭のトイレが快適になるにつれ、外のトイレに求められる水準が高くなっています。デパートや商店街ではトイレが集客の重要な要因になっています。学校では子供たちの健康のために、学校で排泄することが恥ずかしくない環境をつくろうと、トイレの改善が進んでいます。トイレはユニバーサルデザイン（誰もが使えるように配慮したデザイン）が当たり前の時代だそうです。



トイレの話をもじめに聞くなんではじめてのことでしたが、トイレ問題の奥深さと「まちづくりにはトイレが大事だ」という認識を共有することができました。ぜひサロンの計画に生かしていきたいと思います。

浅井さんたちが設計した秋葉原駅前の公共トイレ。スイカで利用できる有料トイレ（無料で使えるトイレもある）。ユニバーサルデザインのトイレと、喫煙室やPCを備えた情報コーナーもある。

2次コンテストに向けて

成果報告会と活動懇談会に参加しました

平成21年10月18日（日）に、みなとみらいにある「市民活動支援センター」で、平成19年度のまち普請事業成果報告会と、今年1次コンテストを通過した9団体が審査委員と懇談する「活動懇談会」に、実行委員会のメンバーら7人が参加しました。一次コンテストのあと、商店街の表通りに面した場所が借りられることになったことや、隣接して福祉団体が障害者の就労の場を計画しており、そこのタイアップができそうなこと、トイレの学習会などの活動を進めていることなどを報

告しました。「地域に輪を広げることが大事だ」「建物が空いているなら、実験的にサロンをやってみたら？」などの助言をいただきました。二次コンテストでは、地域が抱える課題や住民のニーズにその事業がどれくらい貢献するか、地域住民の参加の輪が広がっているか、事業が継続できるように人的・物的な面で十分検討されているか、などが重視されるということでした。

鶴見区では、駒岡連合町会が鶴見川鷹野大橋上流河川敷で花と緑と水の広場づくりが提案されています。ライバルになります。同じ区内ですので、ともに二次コンテストを通過するよう、頑張りたいと思います。



火事で被害を受けた磯子区の「浜マーケット」では、若者が主体となって「元気が集まるイベント」をまち普請事業の助成を受けてつくった。商店街活性化へのヒントを求めて懇談した。

みんなできろう

コミュニティ・サロンとは？

サロンとはもともと応接室や談話室という意味です。昔は路地に縁台があったり、近所の人が集まって四方山話をする場所があちこちにありました。コミュニティ・サロンとは、そんな場をつくろうという活動です。市内にはすでにいくつかの事例があります。

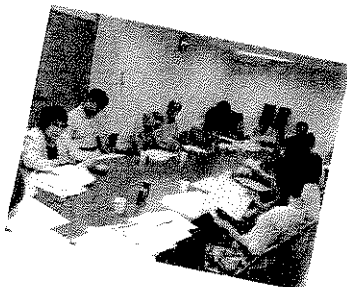
豊岡のサロンは駅のすぐ近くなので、商店街や駅西口を利用するさまざまな人たちが足を休めて、ほっと一息つける場所にしたいと考えています。

買い物帰りにちょっと立ち寄って休憩したり、井戸端会議の場所としてもつかってもらいたい。高齢者や障害者にもやさしいトイレをつくって、バリアフリーのまちづくりにもつなげたい。鶴見会館がなくなってしまうので、そこでやっている催しをこのサロンで続けたい。手作りのアクセサリや作品を展示するスペースがほしい。ここでしか買えない鶴見名物を開発したらどうか。獅子ヶ谷あたりで採れた野菜の朝市もやってみたい。

「みんなで使える空間」ができるとなると、いろいろなアイデアが沸いてきます。ぜひいろいろなアイデアをお寄せください。



建物内部の見学会



トイレの学習会



活動懇談会



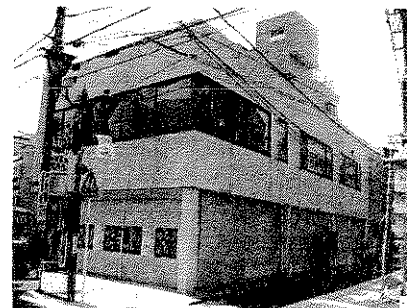
- | | |
|-------|---------------|
| 簡 照子 | 鶴見区文化協会 |
| 遠藤貞郎 | 鶴見区文化協会 |
| 松尾忠夫 | 鶴見区ボランティア連絡会 |
| 本多 賢 | 鶴見区ボランティア連絡会 |
| 加藤孝一 | 豊岡自治連合会長 |
| 堀江幹雄 | 豊岡商店街協同組合理事長 |
| 滝沢弘一 | 豊二町会長・豊岡地区社協 |
| 上杉嘉雄 | 豊三町会長 |
| 伊藤昌次 | 佃野町内会長 |
| 池田 肇 | 諏訪坂自治会長 |
| 増淵 源 | 寺谷自治会長・豊岡地区社協 |
| 深川三郎 | 常緑ハイツ自治会長 |
| 春山和代 | 豊岡地区青指 |
| 加藤玲子 | つるキャン実行委員会 |
| 木村小百合 | つるキャン実行委員会 |
| 武田博美 | 鶴見区社会福祉協議会 |
| 熊谷みどり | 鶴見区社会福祉協議会 |
| 山本耕平 | コンサルタント(寺谷在住) |

こんなメンバーが参加しています

どうやって運営するのか

サロンはつくったあとの運営のほうが重要です。家賃、光熱水費、人件費、材料費などをまかなわなければなりません。お客さんをたくさん呼べるように、魅力あるプログラムづくりも必要です。

みんなでお金を出し合うという考えもありますが、長続きするためには経営がきちんと成り立つことがなりよりも重要です。そのためには、できるだけ多くの人たちにお客さんとしてだけでなく、運営する側に立って、催しの企画や魅力ある店づくりに参加してもらうことが必要です。サロンに関心のある方の参加をお待ちしています。



⊕ 港南台タウンカフェ ⊕

“Cafeからはじまる、おもしろまちづくり”をキャッチフレーズに、地域の協働で開設されたカフェ。港南台駅前にあり、カフェサロンのほか、ギャラリー、小箱ショップ、教室の開催など多彩な活動をしています。つくる会では11月9日に見学を予定しています。詳しい内容は、次号でお知らせします。

地域開放型サロンを豊岡につくる会ニュース創刊号

発行：地域開放型サロンを豊岡につくる会

発行日：平成21年10月

連絡先：鶴見区鶴見中央3丁目19-11 鶴見会館内 鶴見区文化協会気付 045-521-5520 (fax 045-521-5520)

編集協力：山本耕平 (NPO 横浜プランナーズネットワーク) / 鶴見区社会福祉協議会

編集後記 サロンをつくる会の活動を通して、地域のいろいろな人と出会いました。知人がふえるだけで、まちの住み心地はよくなります。サロンというのはそんな効用もありそうです。多くの人に関わっていただきたいという趣旨でこのニュースをつくりました。(KY)